

SHINKIN BANK

BANK

BANK

SHINKIN BAN

DATE

だてしん

半期ディスクロージャー誌

2021年4月1日～9月30日

KIN BANK

SHINKIN BA

SHINKIN

IN BANK

SHI

DATE

伊達信用金庫

だてしん半期ディスクロージャー

当金庫の2021年9月期(2021年4月1日～9月30日)における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

預金者別預金残高

(単位:百万円)

	2021年3月末	2021年9月末	増減額
個人預金	129,096	129,699	603
法人預金	28,208	29,339	1,131
金融機関預金	113	190	77
公金預金	10,894	15,436	4,542
合計	168,313	174,667	6,354

貸出金業種別残高

(単位:百万円)

	2021年3月末	2021年9月末	増減額
製造業	1,858	1,596	△262
農業、林業	273	290	17
漁業	52	68	16
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
建設業	5,730	5,278	△452
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	59	54	△5
運輸業、郵便業	1,476	1,608	132
卸売業、小売業	2,798	2,674	△124
金融業、保険業	772	766	△6
不動産業	10,445	10,343	△102
物品賃貸業	284	269	△15
学術研究、専門・技術サービス業	151	149	△2
宿泊業	731	710	△21
飲食業	1,198	904	△294
生活関連サービス業、娯楽業	1,087	1,123	36
教育、学習支援業	21	20	△1
医療、福祉	3,049	2,932	△117
その他のサービス	2,923	2,824	△99
小計	32,915	31,615	△1,300
地方公共団体	12,146	10,986	△1,160
個人	15,397	15,127	△270
合計	60,459	57,729	△2,730

損益の状況

(単位:百万円)

	2021年3月期	2021年9月期
業務純益	353	219
経常利益	474	221
当期純利益	478	218

金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区分	開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証等による回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%) (B)/(A)	引当率(%) (D)/((A)-(C))
金融再生法上の不良債権	2021年3月期	3,525	3,407	1,860	96.67	92.95
	2021年9月期	3,431	3,305	1,734	96.32	92.55
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2021年3月期	100	100	62	100.00	100.00
	2021年9月期	86	86	44	100.00	100.00
危険債権	2021年3月期	3,390	3,273	1,770	96.56	92.81
	2021年9月期	3,340	3,214	1,685	96.21	92.36
要管理債権	2021年3月期	34	33	27	97.06	84.89
	2021年9月期	5	5	4	100.00	100.00
正常債権	2021年3月期	57,296				
	2021年9月期	54,607				
合計	2021年3月期	60,821				
	2021年9月期	58,039				

(注) 金融再生法に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」は総与信額で開示しておりますが、「要管理債権」は貸出金のみで開示しております。なお、総与信額は貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、未収利息、仮払金の合計額です。

金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

項番	IRRBB 1 : 金利リスク	ΔEVE	
		2021年3月末	2021年9月末
1	上方パラレルシフト	3,422	3,680
2	下方パラレルシフト	0	0
3	スティープ化	2,121	2,585
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	3,422	3,680
8	自己資本の額	6,690	6,898

(注) 1. 「金利リスクに関する事項」については、平成31年金融庁告示第3号(2019年2月18日)による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

2. 金利リスクの算定手法の概要

◆ 開示告示に基づく定量的開示の対象となるΔEVE及び金庫がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する以下の事項

①流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期…1.25年

②流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期…2.5年

③流動性預金への満期の割当て方法(コア預金モデル等)及びその前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。

④固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。

⑤複数の通貨の集計方法及びその前提…計測対象となる主要通貨は日本円のみ。

⑥スプレッドに関する前提(計算にあたって割引金利やキャッシュ・フローに含めるか否か等)

・1年未満はLIBOR、1年以上はSWAP金利を採用。将来キャッシュ・フローに対して、月末時点の市場金利情報を基に算出したディスカウントファクターを掛け合わせて算出した割引現在価値を用いて金利リスク量(ΔEVE)を算出しております。将来キャッシュ・フローを保有していない金融商品(期間の定めのないもの等)については、月末残高を現在価値とみなし、金利リスク量(ΔEVE)の算出は行っていません。

業務純益

(単位:百万円)

	2021年3月期	2021年9月期
実質業務純益	353	206
コア業務純益	346	198
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	336	183

(注) 1. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額
実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

2. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	2021年3月期		2021年9月期	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	6,389		6,606	
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,109		3,106	
うち、利益剰余金の額	3,318		3,503	
うち、外部流出予定額(△)	33		-	
うち、上記以外に該当するものの額	△5		△3	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	320		308	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	320		308	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	6,710		6,915	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	19	-	17	-
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	19	-	17	-
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	-	-	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る15パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	19		17	
自己資本				
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	6,690		6,898	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	51,846		50,497	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△300		△300	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	-		-	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△300		△300	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,016		3,016	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	54,862		53,514	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	12.19%		12.89%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

所要自己資本の額

(単位:百万円)

区 分	2021年3月期		2021年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(イ)	51,846	2,073	50,497	2,019
オペレーショナル・リスク(ロ)	3,016	120	3,016	120
総所要自己資本額((イ)+(ロ))	54,862	2,194	53,514	2,140

(注)所要自己資本額=リスク・アセット×4%

有価証券の時価情報

(1)満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	2021年3月末			2021年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	32,542	33,020	478	31,866	32,247	381
	社 債	4,799	4,855	55	5,299	5,372	73
	そ の 他	2,700	2,727	27	2,700	2,720	20
	小 計	40,042	40,603	561	39,865	40,341	475
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	1,623	1,621	△2	300	300	0
	社 債	2,202	2,178	△24	1,702	1,692	△10
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	小 計	3,826	3,799	△26	2,003	1,992	△10
合 計	43,868	44,403	534	41,868	42,334	465	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。
 4. 時価と貸借対照表計上額が同額の有価証券は、「時価が貸借対照表計上額を超えるもの」に含めております。

(2)その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	2021年3月末			2021年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	2,350	2,331	18	5,626	5,593	33
	国 債	505	501	3	1,015	1,011	4
	地 方 債	—	—	—	1,904	1,900	4
	社 債	1,845	1,829	15	2,706	2,681	24
	そ の 他	3,557	3,270	286	4,021	3,689	331
	小 計	5,908	5,602	305	9,648	9,283	364
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	503	504	△1	1,292	1,298	△5
	国 債	—	—	—	496	498	△1
	地 方 債	—	—	—	596	600	△3
	社 債	503	504	△1	198	200	△1
	そ の 他	279	300	△20	954	980	△25
小 計	782	804	△21	2,246	2,278	△31	
合 計	6,691	6,407	283	11,894	11,561	332	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位:百万円)

	2021年3月末	2021年9月末
非 上 場 株 式	9	9
合 計	9	9

2021年度上期の取組みについて

地域活性化等に向けた取組み

■農業関連支援にかかる取組み

当金庫は、2017年に「地域農業を考える会」(現「西いぶりアグリチャレンジ会議」)を設立し、西胆振地域の基幹産業である農業が抱える課題に向き合い、農業生産者と共に地域の農業振興に向けた取組みを進めています。

なお、2021年度上期は以下の取組みを実施しました。

■伊達信金アグリベーシックセミナーの開催、アグリサポート情報の発行

栽培知識の向上等を目的として、地域の農業者を対象に「アグリベーシックセミナー」の定期開催ならびに「アグリサポート情報」の発信を行っております。

アグリベーシックセミナーは、自治体やJA、種苗メーカーとも連携しながら、栽培技術の基本から課題解決のポイントなど、さまざまな内容をテーマとして開催しており、2021年度上期においては、計4回の開催で、延べ140名の方々にご参加いただきました。

また、「トマト」、「ブロッコリー」等個別の農産物に対する、その時点での留意点を「アグリサポート情報」として、都度発信しております。これらの情報は、農家宛に直接発信しているほか、当金庫Facebookにも掲載しております。

今後も、「アグリベーシックセミナー」、「アグリサポート情報」は、定期的で開催、発行していく予定です。

■環境制御技術(ICT)実証試験の実施

地域の労働力不足解消や農産物の収量・品質向上を目的として、地域の3農家ならびに農業試験場、種苗メーカー等にも協力いただき、2021年8月より環境制御技術(ICT)の実証試験を開始しております。

今後、この実証試験で得られた知見を地域の農業者や関係機関へ提供し、地域全体でのICT技術の普及に取組む予定としております。



■取引先支援に向けた取組み

これまで、営業グループで担っていた補助金等の支援と審査グループが担っていた事業再生支援を「課題解決支援」という枠組みの中で、ワンストップで取組むため、経営支援室を2021年4月に立ち上げました。

長引くコロナの影響を見据え、資金繰り支援を一層強化するための新商品「エール」の発売の他、資本性ローンと呼ばれる一定期間自己資本とみなすことのできる資金供給の支援、あるいは、事業再構築補助金に代表される各種補助金の申請支援など、これまで以上に、一歩踏み込んだ金融サービスを提供しております。なお、新商品「エール」の取扱残高は、手形貸付19件、80百万円、当座貸越28件、111百万円、資本性ローンは、1件、100百万円、補助金相談は25件、うち申請先6件・採択先2件の実績となりました。

今後も、取引先の販路拡大支援やビジネスマッチング等も含めて、幅広く経営支援を行ってまいります。

地域貢献等の取組み

■プレミアム付商品券事業への協力

当金庫は、コロナウイルス感染拡大の影響を受けている地域経済の振興を目指し、行政、商工団体、観光協会とともに地域に必要な経済振興策についての議論を行っております。

2021年度上期においては、前年度に引き続き、各自治体のプレミアム付商品券発行に協力し、保管・販売・換金等の業務を行っている他、「Go To Eat 北海道お食事券」の販売協力も実施しています。

■「ディナーデリ」の取組み

緊急事態宣言など、コロナウイルス感染症の影響により、営業時間短縮要請などで集客に苦慮する地域の飲食店等を少しでも応援したいとの思いから、テイクアウトによる売上協力「ディナーデリ」を実施しています。

7月28日より始め、31件の飲食店に対し、1,106千円相当のテイクアウト商品を利用いたしました。



2021年度上期だてしんトピックス

- 4月 ● 第1回「アグリベータシックスセミナー」の開催
- 5月 ● 手形貸付・当座貸越 特別商品「エール」の発売
- 6月 ● 「そうべつ町プレミアム商品券」(第2弾)の販売開始
 - 「信用金庫の日」の取組み(リングプル・使用済み切手の寄贈)
 - 献血の実施
 - 第72回通常総代会の開催
 - 窓口時間を変更し昼休みの導入(4支店)
 - 第2回「アグリベータシックスセミナー」の開催
- 7月 ● 第3回「アグリベータシックスセミナー」の開催
 - 第4回「アグリベータシックスセミナー」の開催
- 8月 ● コロナ禍の飲食店応援企画「ディナーデリ」
週1回のペースでデリバリーし売上回復の支援
- 9月 ● 本店棟防災訓練の実施
 - 第5回「アグリベータシックスセミナー」の開催

だてしん「職域サポート契約」制度

当金庫と「職域サポート契約」を締結された事業所にお勤めの皆様が、各種ローンを優遇金利にてご利用いただける制度です。

当金庫専担者が、詳しい説明にお伺いします。お気軽にお問い合わせください。

※9月末現在、契約社数407先



～従業員の皆様の福利厚生に是非ご利用ください!!～

-5-

本ディスクロージャーは、ホームページにも掲載しております。



DATE

伊達信用金庫

発行/2021年11月
企画/伊達信用金庫 総務グループ ☎0142-23-3536
[ホームページ] <https://www.shinkin.co.jp/dateshin/>
[Facebook] <https://www.facebook.com/dateshinkin/>

Facebook

